

酒田市中長期観光戦略（案）に対する意見募集の実施結果

1 概要

(1) 募集期間

平成 28 年 2 月 3 日（水）から平成 28 年 2 月 22 日（月）まで

(2) 意見提出者

3 名（メール 2 名、F A X 1 名）、意見総数 34 件

2 中長期観光戦略（案）について提出された意見

No.	ご意見	本市の考え方
1	酒田の観光の売りは、県下最大の港湾。日和山界限は日本一ともいわれる賑わいを見せた歴史の舞台であり、おしんや雑街道にも通じるテーマでもある。酒田の奥深さを感じさせ、湊文化に関連付けた食、名物、歴史の存在が来る方の浪漫や探究心を誘い、酒田ファンの増加へのきっかけになるのではないか。	酒田は北前船交易や最上川舟運で栄えた港町であり、歴史・伝統・食文化などにその影響が色濃く残っています。 この点については、観光戦略の中でも本市観光の基本としてとらえており、物語性を持って発信していきたいと考えています。
2	夜の観光や宿泊に対する取組は知られていないのではないか。山居倉庫や日和山界限のライトアップは、情緒に溢れ訪れる方に感動を与える。さらに、酒田は日本酒の品評会で日本一になったこともある等地酒の持つ可能性に全国の愛好家も期待している。これを歴史ある料亭で味わえるとしたら、泊まらずして酒田を満喫することはできないと思える。夜をテーマにした観光戦略を考案していただけないか。	本市の観光は通過型と言われていることから、観光客の皆様が酒田に夜間滞在し、宿泊する必然性を創出したいと考えています。 その手法として、山居倉庫等のライトアップによる夜間景観の創出、本市のウリである食、地酒の P R ・イベントの開催等を考えています。
3	【施設の入館者数を増やし、滞留時間を増やす】 すべての施設共通で回れる割安の One Day パスポートのようなものを発行するというのは有効ではないだろうか。目だけみれば施設の入館料収入を圧迫するようになるが、観てもらってクチコミで広がって、さらに将来の来場者を拡大していくというプラスのスパイラルを作り出すことは将来の安定収入に繋がるし、巨視的にみても、観光客の滞留時間が延びて、飲食、お土産、タクシー、宿泊と経済効果を生み出していき、産業としての観光を下支えするパイの拡大に寄与する。	市内の観光施設、文化施設については、一部共通入館券を取り入れている施設もありますが、所有者・管理者が異なっていることから、すべての施設の共通入館券の導入には至っていません。 市及び市施設の指定管理者、民間の所有者と協議しながら、共通入館券導入の可能性を探ってまいりたいと考えています。
4	【魅力ある観光都市である為に市井の人々とのコミュニケーションを重視しリピーター化】 名所旧跡から景観・建築を「みる」観光（sight+ seeing）から人と出会い人とのコミュニケーションを通してこの土地らしさを感じる観光（communication seeking）あるいは感口（people's life feeling）を目指す。 名所旧跡や景観といったものは写真に収めたら記憶に残らないが、誰と話しどんなことを一緒にしたかということは記憶に残りやすい。良い記憶が堆積すれば第 2 の故郷としての大切な場所になり、リピーターとなる。	旅先での地元の人との出会いや触れ合いは、大きな思い出になり、再来訪につながるものと認識しています。各施設の説明員、観光ガイド、タクシー乗務員（ガイドドライバー）等の接客がカギを握るものと考えますので、接遇のレベルアップにつながるように関係企業・団体等に働き掛けてまいりたいと思います。

No.	ご意見	本市の考え方
5	<p>【街なか資料館構想】</p> <p>散歩しながら酒田の歴史を感じられるような仕掛けがあると楽しい。市民の散歩にも学びのアクセントが加わり有意義ではないだろうか。</p> <p>資料館や山王くらぶに閉じ込めてある歴史資料を、入館料も取らずにオープンエアに解放する。</p> <p>江戸期の古地図、文献、明治大正の写真、大火前の活気ある街並、大火の資料などなど。</p>	<p>主に市民を対象とする「ぶら探」、観光客を対象とする「駅からハイク」のように、町の歴史を学びながら市内を散策するイベントが好評であり、これらのコースを設定する際に各施設の歴史資料を閲覧できるようにすることも可能と考えています。</p>
6	<p>【夜も歩いててワクワクするような景観の創出】</p> <p>夜の酒田を歩いていると暗く 錆びれてしまった街並が続いている。観光施設は閉館し暗くなっているので目立たないのは当然だ。</p> <p>ライトアップによるアクセントで湊町酒田の歴史的景観が夜だからこそ読み解けるようにスポットを当てることで、夜風を浴びながら街を散歩するのが楽しくなるような演出が効果的だ。例えば小樽のようにガス灯のような柔らかな灯が運河の水面を揺らぐような演出によって、酒田旧港の広がりを実感できる。日和山公園の文学の散歩道ですら夜のスポットライトで存在感を増すのではないだろうか？</p>	<p>観光客の皆様が酒田に夜間滞在し、宿泊する必然性を創出するために、山居倉庫等のライトアップによる夜間景観の創出を考えており、観光客はもとより市民が街中散策を楽しめるようになればと考えています。</p> <p>また、その他の地域については、山居倉庫等の状況を踏まえ、判断してまいりたいと考えています。</p>
7	<p>【情報収集】</p> <p>滞在時間が長く、酒田をじっくりと観てまわる観光客と一番接触時間が多いはずの宿泊施設からの情報のフィードバックの場を設ける。</p>	<p>観光戦略を策定する中で、酒田市ホテル振興協議会の代表者より意見を頂戴しています。</p> <p>また、個別に意見交換の場も設けており、いただいた情報を施策に活かしてまいりたいと考えます。</p>
8	<p>【ロスの少ない観光機会の提供】</p> <p>連休などで複数都市を旅する観光客は朝食を早く終えられ、午前中に酒田市内を観光し、午後次の都市へと移動するケースが多く見受けられる。朝早くから動きたい観光客の要望に応えられるような連休限定のフレックス営業を提案したい。</p> <p>施設の協力を得て、例えば 8時から 18時、9時から 19時、10時から 20時までのオープンの施設をそれぞれ一つ確保する。輪番制にして役割を分かち合う。</p> <p>ちなみに、2016年の連休以上の週は8回だと思われるので、その短期間だけトライアルしてみませんか？</p>	<p>市内の観光施設の閉館時間は、午前 9時から午後 5時までという時間帯が多いようです。</p> <p>フレックス営業については、各施設との協議が必要となりますが、観光客の要望、各施設の体制等を勘案しながら検討してまいりたいと思います。</p>
9	<p>【その他、JRの協力】</p> <p>太平洋側から電車でくる観光客のネックになっているのは、山形新幹線延伸のまえに、陸羽西線の最終電車時間が 20 時台であることがあげられる。</p> <p>新庄最終の新幹線に合わせたダイヤを週末だけでも確保できないものか？</p>	<p>J Rのダイヤ編成については、利用者の利便性が向上するよう、J R東日本に働き掛けてまいりたいと思います。</p>

No.	ご意見	本市の考え方
10	<p>戦略の評価指標として「県外観光客消費額」「延べ宿泊者数」を追加してはどうか。これまでの分析から酒田の観光は日帰り客が多く、滞在時間が短いことが分かっている。その状況を更に分析し検証するため、実際に県外客が消費している額を定点観測してはどうか。官公庁や多くの市の戦略・計画等で採用している指標で、単価×数量（入込客数）の単価を知ること、SWOT分析が次の施策に明確に結びつくと思われる。</p>	<p>観光戦略の目標指標には観光入込者数を使用しておりますが、この指標のみでは分析が難しいことは確かです。</p> <p>宿泊施設の売上高の推移なども目標値として活用できるように、データ提供の協力等を検討してまいりたいと思います。</p>
11	<p>酒田の観光大使等の視点を活かしてはどうか。水森かおりさんや関根近子さん、イ・ボミさんなど酒田に縁のある方を観光大使として任命し、発信力を高めてはどうか。</p>	<p>関根近子さんは、すでに酒田ふるさと観光大使として観光戦略の策定等に関わっていただいております。</p> <p>また、3月にはレースクイーンの前瀬あやさんを新たに大使に任命し、各種イベント等でご活躍いただく予定です。</p>
12	<p>今まで以上に広域観光を進め、庄内や日本海側エリアの中での酒田の強みを活かすべきと思う。飽海地区連携コース、庄内連携コース、出羽の国連携コース、日本海沿岸連携コース等。</p>	<p>広域連携の視点をもって観光戦略を策定しており、庄内地域、ジオパーク、北前船寄港地、秋田県から新潟県までの日本海きらきら羽越観光圏などと連携した事業を展開していきたいと考えています。</p> <p>また、観光庁が認定する広域観光周遊ルートの一つに「日本の奥の院・東北探訪ルート」が認定され、酒田・鶴岡・出羽三山地区が拠点に選ばれていますので、この連携も活用してまいりたいと考えています。</p>
13	<p>市内廻りコースを細分化し、魅力を引き出す。多種多様のコースを設定した中に、マニアックでもおもしろい箇所を入れ、さらに食事処を入れる等。世間にはお金も厭わないマニアたちがたくさん存在するので、如何にハートをつかむかのアイデア合戦と思う。原色・華やかなコースを好む外国人と侘び寂を好む本物嗜好の観光客、幾度も酒田を訪れている観光客にはマニアックな観光施設が喜ばれているようだ。柔軟な組み合わせができるような多様なコース設定が必要と思われる。</p> <p>【コースの例】松尾芭蕉足跡廻り、神社・仏閣廻り、旧料亭廻り、廻船問屋廻り、酒田雛廻り、庄内美人紀行、日本一の大地主本間家廻り、山田挿遊作名庭園廻り、町家廻り、酒蔵廻り、日本一白鳥飛来地酒田のPR、鳥海山ビュースポット廻り、四季の鳥海山を眺めながら食事をする農家レストラン、サイクリングで酒田廻り、白砂青松廻り、亀ヶ崎城廻り、旧町名廻り、歴女コース、酒田の偉人達を紹介する常設展示施設の建設、岸洋子さん・吉野弘さん関連遺品の常設展示施設、(旧料亭の空き家改修等による)、おしんコース等</p>	<p>何度も訪れたくなる街は、さまざまな顔を見せる街と考えます。また、外国人も国によって好む観光が違います。多様な旅のニーズに応えるためには、数多くのモデルコースの提供が必要と考えておりますので、異業種各分野で構成する観光推進組織や、市民、酒田在住外国人の皆さんにも協力していただきながら、内容を検討していきたいと考えています。</p>

No.	ご意見	本市の考え方
14	<p>地元商店主同士の連携強化が必須。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山王山が四季を通して散策したくなるように環境を整備する。樹木の剪定、景観にマッチしたベンチの設置、市民に宿根草等寄附の協力を依頼することで市民の意識改革及びPRを狙う、市民による定例清掃のボランティア募集等。 ・日和山公園入口の旧売店二棟を撤去し、土地を買い上げてカフェを設置する。景観に合う建物とし、日吉町商店街及び酒田市内の企業が連携する。日和山公園は市民の憩いの場所であるとともに、内陸の観光客には海が見え潮風を感じる場所としてPRする。安価で手軽に食べられる物を扱い、特産物とお土産を提供するカフェとする。 	<p>日和山周辺は、市民の憩いの場所であるとともに、観光客にとっても本市の歴史・文化に触れることのできる観光スポットとなっていますので、整備にあたっては、景観に配慮したり機能を十分検討する必要があります。行政のみならず、市民や既存のボランティア団体、商店街、民間企業などが連携しながら、市民・観光客に愛される地域になるように努めてまいります。</p>
15	<p>光丘神社付近を環境整備する。入口右側の廃屋を撤去しないと薄気味悪く近づくのを躊躇する。立派な神社であり、建立した歴史も含めてもっと市民や観光客にPRすべき。</p>	<p>廃屋の撤去に関しましては、必要があれば「空き家等の適正管理に関する条例」に沿って手続きを進めることとなります。また、この周辺には歴史ある社寺が多くございますので、PRに努めたいと考えています。</p>
16	<p>下日枝神社を環境整備する。モノトーンの世界を幟旗や標示で若干カラーの世界に変身し、明るいイメージ作りをしていただきたい。女性が一人でも参拝したくなる空気・世界を演出すべきと思う。</p>	<p>神社の環境整備については、行政では対応できませんが、日枝神社、山王の森を愛する会と相談したいと考えています。</p>
17	<p>旧白崎医院を通年活用する。酒田の偉人についての常設展示などでの活用が考えられるが、場所的に存在感をアピールするには不利か。</p>	<p>旧白崎医院は市指定文化財ですが、12～3月は入館者数との兼ね合いで休館しています。</p> <p>より多くの方々に利用していただくための方策については、日和山周辺エリアの活用と合わせ検討してまいりたいと考えています。</p>
18	<p>もしえのん、あののんのキャラクターが大変可愛いので、土産品の種類を拡大し酒田をPRしていただきたい。子ども用に塗り絵のプレゼントはできないか。</p>	<p>マスコットキャラクターの土産品については、観光物産館やその他事業者が少しずつですが販売を始めています。塗り絵につきましては、子どもが参加する観光イベント等でさっそく取り組みたいと考えています。</p>
19	<p>酒田雞廻りの周遊券割引はできないか。</p>	<p>参加の各施設と協議しながら、可能性を探ってまいります。</p>
20	<p>酒田は観光客が自転車で市内を回るには適度な規模と思うが、歩道と車道の段差があり、整備すべき箇所がある。</p>	<p>観光客が多く通行するルートを想定し、危険な箇所があれば、道路管理者と協議してまいります。</p>
21	<p>全市民体制で市内の美化運動を推奨し、街全地域で花いっぱい運動を展開し、コンテナガーデンを置く。</p>	<p>これまでもべにばな国体等の際に花いっぱい運動を展開し、お客様をおもてなしの心でお迎えしました。</p> <p>まずは、市民一人ひとりがおもてなしの心を持ち、観光客の皆さんを温かくお迎えできるような機運を醸成してまいりたいと思います。</p>
22	<p>観光客と思われる人への市民の声かけ運動を推進する。</p>	<p>地域に誇りを持つことと合わせ、機運を醸成してまいります。</p>
23	<p>各観光施設への誘導標識に外国語表記が必要と思われる。</p>	<p>外国語を表記した案内標識については現在検討中です。</p>

No.	ご意見	本市の考え方
24	個人所有ではあるが、寄暢亭の日本庭園を観光に生かせるようご協力いただけないか。	寄暢亭は素晴らしい財産であると認識しておりますが、個人所有のため観光での活用は難しいと考えています。
25	市街地マップに烏海山ビューポイントを表示すべきと思う。	更新のタイミングで表示いたします。
26	六次産業の言葉が随分聞かれる。烏海山を眺めながら寛げる庄内の特産品を使用したレストランや夕陽を眺めながらつや姫アイスやヨーグルトも楽しめるカフェ、カラフルな漬物・特産品も買える農家の店、道の駅等を設置してはどうか（農協との連携も）。	ご提案のようなレストランやカフェ、農家の店等があれば、観光客のみならず市民にも喜ばれるものと思います。 観光を産業として考えると、これらの施設を民間企業・団体等が経営し、儲かるようにすること、行政が頑張る経営者を支援していくことが大切であると考えます。市としては、そういった相談があれば、支援してまいりたいと考えています。
27	休耕田や畑を県外の方や退職者へ斡旋する。週末に充実生活や避暑地体験をしていただくことをPRする。目指すは桃源郷としての庄内での生活体験。ベネシア（ベニシア）さんスタイルの導入。	関連部署と情報共有を図りながら、体験型観光としての実施の可能性を探ってまいりたいと考えています。
28	毎年9月に遊佐町で開催されるツーデーマーチの際に、酒田駅前に歓迎の横断幕を掲げる等の連携プレーが必要ではないか。	周辺市町との情報共有を行いながら、歓迎の意思表示を行ってまいりたいと考えています。
29	東北エプソン及び花王の町のPR、地場産業のPRと海外への輸出拡大を進めてはどうか。	立地企業や地場産業の活性化は本市の活力増大につながりますので、様々な機会をとらえて国内外にPRしてまいりたいと考えています。
30	異業種間の連携の必要性が以前から言われているが、企業人・市民の意識改革を集約した上での具現化が早急に必要と思う。	異業種による観光推進体制の整備を進めていくほか、市民が地域に誇りを持てるよう機運の醸成を図ってまいります。
31	紅葉時の烏海高原から見る迫力ある烏海山と温泉を結ぶマイクロバスを土日限定でも構わないので運行してはどうか。庄内平野をドライブするのも魅力の一つであり、県外ナンバーの車がたくさん来ている。高齢者の方も楽しめ、近距離内で絶景を体感できる。	本市には、季節ごとに見所が多くありますが、観光地までの二次交通の不足が課題となっています。観光客の需要を見極めながら、必要に応じ交通事業者と協議してまいりたいと考えます。なお、タクシーで烏海山を回る観光プランを企画しているタクシー会社もあります。
32	県外からの客をドライブに連れて行くと、庄内平野の美しさに「癒される」を連発する。人工的な物を凌ぐ酒田の自然の素晴らしさをPRしてはどうか。	観光戦略のサブストーリーにも謳っておりますので、力を入れてPRに努めます。
33	桜の鑑賞期間は約1か月だが、酒田の財産である歴史的建造物や烏海山の雄姿、庄内平野の美しさは一年中存在する。観光はアイデア合戦なので、城下町鶴岡と港町酒田の二つの特色を最大限生かして、連携プレーで全国・世界に発信してもらいたい。	庄内地域には、観光資源が数多くありますので、2市3町が連携し、魅力ある観光ルートを作り上げ、情報発信してまいります。
34	市街地と旧町の観光地や施設を結ぶサイクリングロードの整備（新設）は、庄内平野の素晴らしさを満喫でき、若者や子どもを、運動要素を入れながら観光地に誘導する立派な作戦になると思う。	烏海山を望みながら庄内平野を通り旧町へ向かうルートは、サイクリングの環境として素晴らしいと考えますが、専用道路の整備に関しては、用地や費用の問題もあり、今のところ考えておりません。